



第87回アカデミー賞
長編ドキュメンタリー映画賞
第49回全米映画批評家協会賞 ノンフィクション映画賞
第80回NY映画批評家協会賞 ドキュメンタリー賞
第40回LA映画批評家協会賞 ドキュメンタリー映画賞

第87回アカデミー賞 長編ドキュメンタリー賞受賞
世界の映画賞席巻 受賞40、ノミネート35!!

世界的スキャンダルの生きたドキュメント!
“パナマ文書”に先んじた暴露事件の全貌とは!

世界が絶賛!

- 「最も恐ろしいスリラー」 — THE GUARDIAN
- 「これまで観た中で最高級に面白い」 — ROGEREBERT.COM
- 「まるで頬を引っぱたかれたように目が覚める」 — ROLLING STONE
- ボーン・シリーズのような陰謀をテーマに、これはただの映画ではないと思わせてくれる」 — BBC
- 「ジョージ・オーウェルの悪夢を彷彿させる…『大統領の陰謀』以来、最高の疑心暗鬼スリラー」 — INDIEWIRE
- 「緊張と恐怖の連続…デジタル時代の根本的な政治モノだ」 — THE NEW YORK TIMES
- 「斬新な疑念に満ちた陰謀スリラー」 — NEW YORK MAGAZINE
- 「恐ろしくエキサイティング。ジョン・カレに匹敵する」 — LA TIMES
- 「世界的スキャンダルの生きたドキュメントとも言える。警告的で本質的」 — EMPIRE

スノーデン事件とは…… 2013年6月、CIA、NSAで働いた経験を持つ当時29歳のエドワード・スノーデンが、アメリカ合衆国が国民をスパイしていることを暴露。ガーディアン紙を通してその内容を全世界に発信した。



絶賛の声、続々!

- 凄まじい映画だ! 本物のスノーデンが驚くべき事実を訴える。一瞬も目を逸らすことができない。
—— 田原総一朗 (ジャーナリスト)
- 日本を含め全世界が米国CIAの監視下にある恐怖。その真実を突きつけるドキュメンタリー映画。必見!!
—— 鳥越俊太郎 (ジャーナリスト)
- ネットの自由を守るため、29歳の男が最高機密を漏洩した。愛国者なのか反逆者なのか判断がつかない。
—— 土屋大洋 (国際政治学者)
- スノーデンの究極の正義感もさることながら、ジャーナリストとしての好奇心をこれほどそそる作品は他にない。
—— 大野和基 (国際ジャーナリスト)
- プライバシーの神話を信じている人の酔いが覚める。どの立場の人でも必見。デジタル時代の必修作品! ドキュメンタリーなのに一種のホラー映画くらいの恐怖感を与える。犠牲になってもいいから警鐘を鳴らしてくれるスノーデンの勇気を認めざるを得ない。
—— デーブ・スペクター (放送プロデューサー)

関連書籍

【暴露 スノーデンが私に託したファイル】 (新潮社刊)
著: グレン・グリーンウォルド 訳: 田口俊樹・濱野大道・武藤陽生
世界24か国同時刊行!! 最高機密文書多数収録
国家安全保障局(NSA)と中央情報局(CIA)という合衆国の二大情報機関に籍を置いたエドワード・スノーデンは、自身の運命と膨大な最高機密文書を筆者に託した。権力の濫用によって危機に瀕する市民の自由、そして報道の自由——これはもはや、一国の問題ではない。一連の報道によって英国紙「ガーディアン」にピューリッツァー賞をもたらした著者がいま、稀代の内部告発者の実像とファイルの全貌を白日の下にさらす!

【スノーデンファイル 地球上で最も追われている男の真実】
著: ルーク・ハーディング 訳: 三木俊哉 (日経BP社)
9・11テロ後、情報機関による通信傍受・監視に歯止めが利かなくなった
個人の自由を脅かすはずのインターネットなどの情報テクノロジーは強力な監視マシンへと変貌していった。スノーデンは歴史上類を見ない内部告発者だ。世界最強ともいえる情報機関の最高機密をこれほど大量にリークした例はない。スノーデンがもたらした情報(ファイル)によって米政府の情報収集活動の実態を暴き2014年ピューリッツァー賞に輝いた英「ガーディアン」紙が、米英による情報監視の全貌をあますところなく描く。

【スノーデン・ショック 民主主義にひそむ監視の脅威】
著: デイヴィッド・ライアン (岩波書店)
訳: 田島泰彦、大塚一美、新津久美子
バーチャル空間といった偽りのイメージを捨てよ。携帯電話は伝えない相手だけに情報を届けてくれるのか。本書はスノーデンの警告に呼応する試みだ。社会的差別と予防的監視を助長させる「オンライン」と「オフライン」の戦慄を覚えるリンクが明らかに。

【インテリジェンスの世界史 第二次世界大戦からスノーデン事件まで】
著: 小谷賢 (岩波書店)
国を越えた情報協力が緻密化しビッグデータの活用が拡大するなか、スノーデン事件は情報戦の危険性を警告している。第二次大戦から今まで、通信傍受技術の飛躍的な発展と米英を中心とした通信傍受網が明らかにされる。

- テロが続発するいま、背筋が凍るこんな諜報活動は、当たり前のように全世界を覆っているはずだ。
—— 大谷昭宏 (ジャーナリスト)
- ぼくたちは今、バラノイア気味な陰謀論と、現実的なサイバー戦争の、「狭間の世界」で生きています。何が現実で何が妄想なのか曖昧なこの世界で、この映画はある意味サイバイバル・マニュアルと言えるかもしれません。そしてこの映画は、今ももっとリアルで静的なスパイ映画でもあります。これは余談なんですけど、劇中ちらっと世界ハッカー会議の映像があって、思わず「どっかに知り合いがいるかも」と探してみました。
—— 深見真 (作家、脚本家、「王様達のヴァイキング」ストーリー協力)
- こんな大それた暴露をしたスノーデンとはどんな人物なのか。思いのほかチャーミングなイケメンだ!
—— 武藤陽生 (「暴露—スノーデンが私に託したファイル」翻訳者)
- 世界的な重大事件を記録したドキュメンタリーは無数にある。だが、重大事件を自ら起こし、そのど真ん中でカメラを回した作品は初めて観たし、そんな映画が可能だとは想像もしなかった。映画館では口をあんぐり開け放し、確実に映画史に残る作品である
—— 想田和弘 (映画作家)
- フィクションでなく、現在進行形の、真実の話であることに、ハッとさせられる。スノーデン、この若者は間違いなく歴史に残る
—— 新津久美子 (「スノーデン・ショック」翻訳者)
- スノーデンの冷静な眼差しをとらえる映像の力が観る者を射る。
—— 大塚一美 (「スノーデン・ショック」翻訳者)
- 関連書籍では明かされなかった本当の真実がここにある。その真実の重みに、震えどころか涙さえ止まらない。
—— 濱野大道 (「暴露—スノーデンが私に託したファイル」翻訳者)

6/11(土) あなたは歴史の目撃者となる!

【シアター】イメージフォーラム
自由座・定員規制・整理券制
TEL: 03-5766-0114 www.imageforum.co.jp
11:15 | 13:50 | 16:15 | 18:50

特別鑑賞券発売中 ¥1,500 (当日 ¥1,800のところ)
劇場窓口でお買い求めの方にオリジナル・ポストカードをプレゼント

東京 新宿ヒカデリー 03-5367-1144	神奈川県 横浜 神奈川 045-243-9800
千葉 千葉劇場 043-227-4591	大阪 なんばパークスシネマ 06-6643-3215
兵庫 神戸国際松竹 078-230-3580	愛知 伏見ミリオン座 052-212-2437
福岡 KBCシネマ 092-751-4268	

※公開日、劇場は変更になる場合があります。詳細は劇場へお問合せください。

「国家」とは何だろう、とあらためて考えさせられた。エドワード・スノーデンは間違いなく生身の人間だけれど。
—— 三木俊哉 (「スノーデンファイル」翻訳者)

これはフィクションではない。現実にはオーウェルが「1984」で描いてみせた世界そのものなのだ。
—— 小谷賢 (国際政治学者、「インテリジェンスの世界史 第二次世界大戦からスノーデンまで」著者)

“暗号解読”割引キャンペーン
こちらの暗号の答えをシアター・イメージフォーラムの窓口でお答えください。
【暗号】 AL1V1MWX2RSAH1R

*当日一般料金1,800円より200円割引いたします。*他割引料金との併用はできません。*割引適用は、当日券購入時の提示に限り。ご購入後の金額変更・払い戻し等はできませんので、予めご了承下さい。